

秘密保護法に反対するすべての人たち、大集合

STOP! 「秘密保護法」

11. 21 大集会

今の臨時国会で特定秘密の保護に関する法律案（秘密保護法）が審議されています。

しかし、森担当相の答弁からしても、何が秘密指定の対象になるのか、よく分かりません。しかも、マスコミに対する家宅捜索については、谷垣法相が検察対応になると答弁したにもかかわらず、マスコミは家宅捜索の対応にならないと強弁し、最終的な結論は留保しています。

秘密指定のチェックについての第三者機関設置についても、政府の対応は混乱を極めています。

何よりも、森担当相自身が、秘密保護法が成立しても運用の改善に努めると答弁するなど、法案に根本的な問題が存在することを認めています。絶対に、このような法案の成立を認めるわけにはいきません。

今の日本では、諸外国に比べて情報公開が進んでいません。今必要なのは情報公開です。国の情報は政治家や官僚のものではありません。時代に逆行する秘密保護法の成立は何としても阻止しなければなりません。

ところが、政府は、多くの反対意見があるにもかかわらず、今週にも法案を強行採決しようとしています。全国で反対の声を上げる必要があります。

反対集会等は、大阪だけでなく、全国各地で開催されます。

「秘密保護法反対！」の一点で結集し、政府と国会に私たちの声をぶつけましょう！

■日時 11月21日（木）午後7時開始（8時30分終了）

■会場 大阪弁護士会2階203・204会議室

◆主催 大阪弁護士会

<全国一斉抗議行動> 11月21日は、東京・名古屋・仙台・広島・富山・静岡の各地でも集会等が開催されます。